



気象庁 福岡管区気象台



業務内容

§ 技官 § 〔福岡管内の職員数 約470名〕

九州地方(山口県を含む)を対象に、警報・注意報等の防災気象情報の発表、天気予報、気象観測、航空気象予報・観測、地震・津波・火山の監視と防災情報の発表、気象通信業務、調査・統計業務を主に行っています。また、平時からの自治体との連携強化を通じて地域防災支援を推進しています。

§ 事務官 § 〔福岡管内の職員数 約60名〕

主な仕事内容は、総務と会計に大きく分かれます。総務では、職員の人事管理、給与、福利厚生等の事務を行っています。会計では、予算の管理、物品・国有財産の管理、工事及び物品購入等の契約事務を行っています。

※職員数は令和6年12月1日現在

採用区分

大卒:一般職〔行政九州、物理、デジタル・電気・電子、化学、土木、農学、農業農村工学、林学〕
高卒:一般職〔技術九州〕

勤務地・転勤・昇進

管内の勤務地は、福岡管区気象台、各県の地方気象台、測候所があり、北は山口県の下関地方気象台から南は鹿児島県の名瀬測候所までです。2~3年毎に部署内異動も含めた人事異動がありますが、希望や能力、実績等により、本庁(東京)や全国の官署に転勤する場合もあります。本人の能力と経験に応じて、係長・予報官・課長等に昇進していきます。

問合せ先

〒810-0052
福岡市中央区大濠1-2-36
福岡管区気象台 総務部総務課人事係
☎(092)-725-3601
<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/index.html>

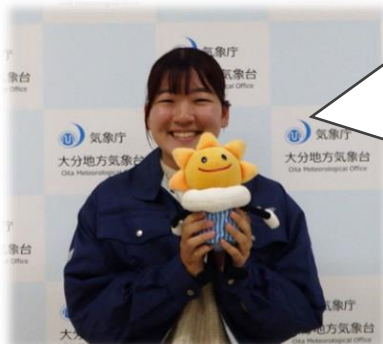
web サイト QR コードはこちら！



先輩からのメッセージ

令和5年4月に採用され、福岡管区気象台総務部会計課に配属されました。現在は、主に職員の給与や手当の支払業務を行っています。職員の生活に根差す重要な業務で、所得税などの税金にも関わる非常に責任のある仕事ですが、心強い上司や先輩方のご指導のおかげで、自信をもって日々の業務に取り組むことができます。また、仕事と趣味の両立できるところが、大きな魅力の1つだと思います。通常業務では、気象業務に直接関わることは少ないですが、希望すれば防災イベントなどの幅広い業務の経験もできる職場です。気象庁の業務内容に興味がある方は、ぜひ業務説明会に参加して、職場の雰囲気を感じてみてはいかがでしょうか。

【令和5年度採用/一般職(大卒)行政/福岡管区気象台総務部会計課】



令和5年4月に採用され、大分地方気象台に配属されました。主に防災業務に携わっており、アメダスの保守点検や防災に関する普及啓発活動(出前講座やメディア出演)などを担当しています。もちろん気象学も絶賛勉強中です。防災に興味があり、気象庁へ入庁したため、やりたい仕事をやらせていただいていることに幸せを感じながら業務にあたっています。現時点で気象の知識がなくても、入庁後の研修が非常に充実していますので何も心配はいりません。「空を見るのが好き！」など興味を持っていたくきっかけは何でもいいと思います。少しでも気象に興味がある方はぜひ気象庁で働いてみませんか。

【令和5年度採用/一般職(高卒)技術九州/大分地方気象台】